

CSR REPORT

2021



A close-up photograph of a person's hand holding a small, vibrant green seedling with two leaves and a small bud, growing out of a mound of dark soil. The background is a soft, out-of-focus green, suggesting an outdoor setting. The lighting is bright and natural, highlighting the textures of the leaves and the skin of the hand.

企業理念

私たちは
人類の永続と繁栄と幸せのため、
創造的思考をもって、
楽しく、真面目に、一所懸命行動し、
地域にとってなくてはならない
企業であり続けます。

目次

- 01** 企業理念
- 02** 目次
- 03** ごあいさつ
- 04** 環境への取り組み
- 07** 地域への取り組み
- 09** コンプライアンスへの取り組み
- 11** 社員への取り組み
- 13** 三光グループの取り組み
- 15** DATA

ごあいさつ



みなさま、毎々格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。お蔭様で本年も「CSRReport（第3版）」を発行することとなりました。

初めに新型コロナウイルスの影響は未だ持って終息することなく、我々の生活並びに経済活動に大きな影を及ぼしております。その中において弊社では、廃棄物処理という社会インフラを支える仕事に従事している責任を自覚し、施設を止めないよう感染予防対策に注力して参りました。本年度はその取り組みを報告書に加えております。

次に環境経営の具現化であります。SDGsの推進を事業活動の中核に据えて、具体的にはエネルギーの自給自足など資源の有効活用を重点的にこれまでの方針として取り入れておりましたが、先日、菅総理が2050年カーボンニュートラルを宣言されて以来、脱炭素社会の要素の優先度を上げる必要性を感じております。本年度は三光グループによる「再エネ100%宣言 RE Action」や、それを達成するための非化石価値の創出などの取り組みも行っており、それらについてもご報告しております。

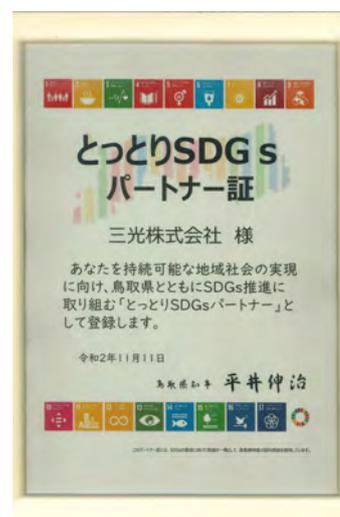
次に殆どの企業が方針とされていると思いますが、働き方改革や少子高齢化による働き手の不足などにより、デジタル化の推進はこれからの企業経営の重要ファクターであります。廃棄物処理業は契約書、マニフェスト、帳簿など特に必要書類の多い業種でありますので、デジタル化は避けては通れません。しかし、残念ながらシステムを導入すればデジタル化が推進できるものでもありません。その前にすべきことは業務改善であります。本年度は次年度につながる初手として、部署を超えた業務改善に努めた取り組みを行って参りました。

このように様々な取り組みを行って参りましたが、最も多い取り組みは地域貢献の分野でありました。弊社の企業理念は、「地域にとってなくてはならない企業であり続ける」ことであります。これは社会情勢がどのような変化をしたとしても社会に約束した普遍的な弊社のクレドであります。その具現化のために、社員一同、楽しく、真面目に、一所懸命に前進して参ります。引き続き宜しくお願い申し上げます。

環境への取り組み

とっとりSDGsパートナー登録

鳥取県とともにSDGs推進に取り組むパートナーとして登録いたしました。これまで出前授業・廃棄物セミナー・再生可能エネルギーの推進など、環境事業を軸として多様な活動に取り組んでまいりました。また、廃棄物の焼却処理で発生する熱エネルギーを有効な資源として活用するため、蒸気に変換して利用しています。小型蒸気発電機のほか、乾燥処理の熱源利用や陸上養殖等にも運用しており、限りあるエネルギーを有効活用しています。今後も鳥取県の総合環境事業に携わる企業として、環境を起点とした活動に取り組み、ゴール7をはじめとしたSDGsの達成に貢献していきます。



エネルギーマネジメント

～工場内・本社照明のLED化～

本社・江島工場・潮見工場・ウェストバイオマス工場で使用していた「水銀灯」を「LED」に変更することによって、年間でおおよそ234万kw（3工場のみ）の電力量を削減しています。脱炭素のトップランナーとして、再生可能エネルギーの利用はもちろんのこと、各工場や事業活動における使用電力量の削減、創エネと省エネの両方に取り組んでいます。



CO2排出量削減に向けた取り組み

～エコドライブ活動の推進～

私たち三光の事業活動では、工場焼却炉によるCO2排出に次いで、廃棄物の物流サービス時にも、化石燃料消費によるCO2が多く発生します。そのため、CO2排出量削減に向け、エコドライブ活動を推進しています。

全収集運搬車両（トラック）にはドライブレコーダーとデジタルタコグラフを設置し、走行時の「速度」「時間」「距離」などの情報を元に、エコドライブ・安全運行の評価を行っています。それらを数値化して管理するほか、運行管理者による同乗チェック・指導など、ドライビング技術の向上に努めています。



RPF固形燃料のJISマークを更新

2020年、私たち三光で製造するRPFのJIS認定を更新しました。2011年にJISマーク※1認定を取得して以来、更新を継続しており、石炭・石油などの化石燃料と比較して30%もCO2排出量が少ない燃料を廃棄物から製造しています。2020年にはRPFを約20,000t製造し、ボイラー燃料として出荷しています。

※1JISマーク表示制度とは、日本の工業分野において定められた基準や規格を満たしている物に対して認定されます。



ISO14001を更新

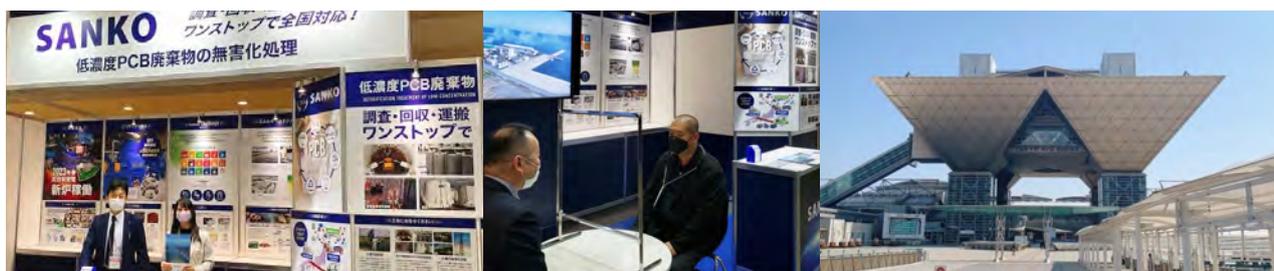
私たち三光では、2005年の認証取得後、10年以上継続してISO14001※2を4工場において運用しています。これにより、各都道府県から受けられる産業廃棄物の収集運搬業・処理業に関する優良認定の基準の1つを満たすことができます。またISO14001の運用により、環境に配慮した事業活動に取り組んでいます。

※2ISO14001とは、国際規模で定められた環境マネジメントに対する規格です。



2021NEW環境展に出展

2021年3月17～19日に東京ビッグサイトで開催された“2021NEW環境展”に出展いたしました。「低濃度PCBのワンストップ無害化处理」、「PIC UP」「リサイクル商品」「CSR活動」「排熱の有効活用」の5つのテーマに基づいて、当社の取り組みを紹介し、環境大臣認定を受けた低濃度PCB廃棄物処理や全国回収・橋梁塗膜の処理についてご説明しました。



環境ボランティア活動を実施

毎年、春と秋に三光グループの社員とそのご家族を含めた総勢約120名で、鳥取県境港市潮見町（三光潮見工場、境港昭和北緑地）、島根県松江市八束町（三光江島工場、三光エナジーオイルキャップ江島SS）、本社周辺の草刈りや草取り・ごみ拾いなどを行っています。



— 環境活動宣言 —

三光株式会社は経済・社会の発展に貢献し、「地球環境」に配慮し企業価値を高めながら、持続可能な社会の創造に貢献することを目指します。
人類は多くの生物によって開発・発展の機会を得ており、これらの生物と共存共栄していく為に自社の為の事業活動だけでなく、環境保護に努め、豊かな循環型社会の実現に向けて、環境活動を推進していきます。

地域への取り組み

緊急事態発生時・災害時における廃棄物処理に関する協定を締結

2020年5月から11月の間に、鳥取県・島根県の各自治体を含む21団体と「緊急事態発生時・災害時における廃棄物処理に関する協定」を締結いたしました。緊急事態や災害※1が発生し、各自治体及び公共団体が運営する廃棄物処理施設にて可燃ごみ・不燃ごみなど、生活ごみの処理が著しく困難となった場合に、各自治体及び公共団体からの要請に基づき、当該廃棄物を、当社処理施設にて適正処理※2いたします。

【協定締結先一覧】

鳥取県境港市、南部町・伯耆町清掃施設管理組合、鳥取県江府町、日野町江府町日南町衛生施設組合、鳥取県大山町、島根県安来市、鳥取県日南町、鳥取県鳥取市、鳥取県東部広域行政管理組合、鳥取県米子市、鳥取県日吉津村、鳥取県伯耆町、鳥取県南部町、鳥取県日野町、島根県出雲市、鳥取県倉吉市、鳥取県湯梨浜町、鳥取県三朝町、鳥取県北栄町、鳥取県琴浦町、鳥取県西部広域行政管理組合（計21団体）

※1 緊急事態や災害とは、新型コロナウイルス等の感染症拡大や豪雨・地震等の災害を指します。

※2 適正処理とは、三光株式会社潮見工場、江島工場、昭和工場にて、焼却、破碎、選別、圧縮固化等の処理を行います。



チャレンジ！アウォーズ メディア賞を受賞

ガイナレ鳥取及びそのスポンサーである私たち三光が、Jリーグよりメディア賞※1を受賞しました。これは、ガイナレ鳥取の芝生生産事業「しばふる」が、高く評価されたものです。ガイナレ鳥取の「しばふる」は、「地域社会の一員としてお役に立つ」というSC鳥取百年構想の一つを事業化したものです。休耕地を利用して生産したスポーツ芝は、幼稚園や学校の校庭・中庭の芝生に使われています。



※1メディア賞とは、Jリーグが取り組んでいる「チャレンジ！（社会連携）活動」の賞のひとつ。



養殖したゴズを県立境港総合高等学校へ提供

料理を通じて中海の環境資源を知ってもらうため、養殖したゴズを境港総合技術高等学校の食品・ビジネス科の3年生の皆さんに調理実習の素材として使っていただきました。ゴズの陸上養殖は、2018年から排熱エネルギーの活用として鳥取県水産試験場と共同で研究しており、現在は試験的な出荷も行っています。

鳥取大学のオンライン講師を担当

2020年7月、鳥取大学のオンライン授業で、コンプライアンス担当が講師を務めました（写真右上段）。「持続可能な社会の実現に向けた取り組み」として、当社事業などを基にオンラインで学生の方々と交流いたしました。今後は出前授業や環境ボランティアなどで大学生の皆さんと協働できる取り組みを行って参ります。

社会情勢の動向～地球温暖化

<パリ協定> 低炭素社会への移行
世界の平均気温上昇を産業革命より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力

国名	1990年比	2005年	削減目標
日本	▲18.0%	▲25.4%	
米国	▲14～16%	▲26～28%	(2025年までに) ▲18～21%
EU	▲40% (2030年までに)	▲35%	▲24%

コンプライアンスへの取り組み

Gマーク制度認定

Gマーク制度とは、利用者がより安全性の高い事業者を選びやすくするための制度です。①安全性に対する法令の遵守状況②事故・違反の状況③安全性に対する取り組みの積極性の3つの観点から、一定の基準以上の評価を受けているほか、法に基づく認可申請や報告事項が適正になされている事などが認定要件になっています。当社では、平成20年の取得から10年以上継続して認定されています。



29都府県2都市より「優良認定」取得

2020年度、新たに沖縄県において「優良認定」を取得し、従来の優良認定と合わせて29都府県2都市より優良認定を受けております。この認定は、ISO14001の認証取得・電子マニフェストの加入・継続した情報公開等を行っていることが条件となっています。

環境計量士の国家資格を取得

各種分析・検査を担当する社員が、環境計量士（濃度関係）の国家資格を取得しました。資格取得した社員からは「この試験に合格したことが多少自信になりましたが、さらに自信を持てるように、日々の管理、汚染のない整った環境での分析を継続します。」とコメントがありました。



電子契約の推進

産業廃棄物処理委託契約などのデジタル化に向けて、電子契約の導入及び本格的な運用を進めています。契約の締結がインターネット上で可能になった事により、書類作成から契約締結・回収までが円滑になるほか、ペーパーレス、書類管理における事務効率の向上も期待できます。



社内業務改善活動

本社・各拠点におけるコンプライアンスを遵守した業務を推進するための環境づくりに努めています。毎月、各工場・支店の5Sやコンプライアンス遵守状況を巡回し、遠隔地の業務課題の洗い出しやヒアリングを行うほか、マニフェストの返送・保管状況や工場内・積替保管施設の廃棄物保管状況など、法令に沿って業務を行うよう社内指導を徹底しています。



三光防災の日

私たち三光では、2010年1月24日に発生した昭和工場の大火災を風化させないため、毎年1月24日を「三光防災の日」としています。今回は社会保険労務士の本池寿先生を講師として、労働災害に関する講習を行いました。労働災害は業務中・通勤中など、誰にでも起こりうる身近な災害の一つであることを再認識し、全社員の安全に対する意識が高まりました。



社員への取り組み

産廃適正管理能力検定試験を受験

2020年12月に、20名の社員が産業廃棄物適正管理能力検定試験を受験しました。この検定は、産業廃棄物を取り扱う人を対象に、産業廃棄物の管理を行う上で必須となる知識を問う試験です。日々の実業務においてコンプライアンスに直面する社員たちと共に、コンプライアンス部門のマネージャーが講師となり社内勉強会を6回開催し、受験する社員の全面的なサポートを行う初の試みとなりました。

営業部門勉強会を開催

2020年8月、営業部門を対象とした勉強会を開催しました。今回は日頃の業務から離れて、業務と使命を再認識し、自部署の強みと弱みなどを洗い出すことによって、取り組むべき課題を明確にすることを目的として行いました。また、一般職と管理職を交えたグループワークや部署間交流により、社員間のコミュニケーションを深めることができました。



製造オペレーション勉強会を開催

2020年9月から工場設備を担当する社員を対象に全5回に渡る勉強会を開催しました。日頃の業務から離れ、燃焼概論や設備設計などについての座学を行ったほか、筆記試験、オペレーター力量向上試験の答え合わせなどを行いました。日頃の疑問点などを題材に議論しながら、技術力向上に向け勉強会を進めました。



持続可能な地域社会の 実現に向けて



THE GLOBAL GOALS

2030年のSDGs達成に向け、CSRに基づいた三光グループの基本方針となる「4つの重点課題」に則り、従業員の働き甲斐やワークライフバランスの向上を目指し、日々の活動に取り組んでいます。

01

福利厚生充実

2021年1月より福利厚生の一環として、会社から誕生日を迎える従業員へお祝いのケーキを贈る取り組みを始めました。



02

永年勤続表彰

2020年11月、三光グループの発展に永らく貢献された5名の社員に対する表彰を行いました。

03

一隅制度の社内褒賞

新しい社内褒賞として「一隅制度」をスタートしました。当制度は、本人や周りすら気付かないような目立たない取り組みが、実はとても素晴らしい重要な事案であるなど、つい見逃してしまうような物事に、きちんと取り組む尊い人を照らす褒賞制度です。

04

新社員フォローアップ

フォローアップ研修では、廃棄物処理法における「適正処理の責任を受託する処理業者」として、廃棄物の処分契約書の作成方法やマニフェストの取り扱いに関する注意点などを学び、廃棄物処理に携わる者としての知識を深めました。



三光グループの取り組み

「再エネ100宣言 RE Action」 へ参加表明

三光グループは2020年9月4日に「再エネ100宣言 RE Action」への参加を表明いたしました。

「再エネ100宣言 RE Action」とは、企業・自治体・教育機関・医療機関などの団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。

アンバサダーの鳥取県をはじめ、各行政や参加企業の皆様と連携をとりながら、これまで以上に環境に配慮して事業を継続していきます。



奨学金給付事業を開始

2020年11月19日、三光ホールディングス(株)と鳥取県立境高等学校同窓会との間で「さんこう境高奨学金給付事業協定」を締結。2021年4月7日、奨学生第一号となる山根ゆめさんへ目録を授与いたしました。三光グループは奨学金給付事業を通じて、鳥取県境港市の高等学校教育の充実発展に寄与し、社会貢献を果たしてまいります。



業績報告会を開催

2020年12月15日、SANKO夢みなとタワーにて、三光グループの業績報告ならびに今年度方針発表会を開催しました。三光グループが決算期を9月に合わせて以降、今年度が初めての決算となります。そこで、お取引のある金融機関様などにお集まりいただき、決算概要のご報告と今年度から3年間の中期経営計画、今年度計画についてご説明しました。



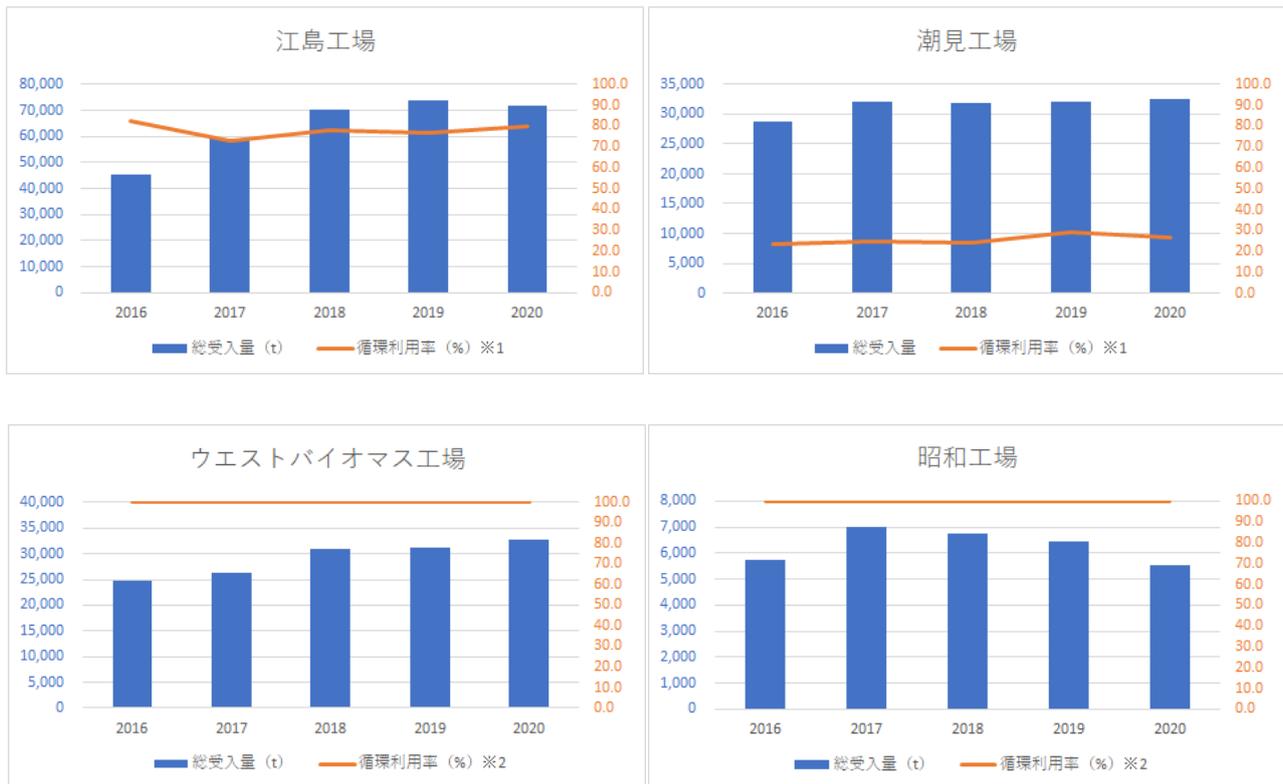
新型コロナ対策認証事業所へ

2020年10月、三光エナジーサービス(株)オイルキャップ米子空港給油所が「鳥取県新型コロナ対策認証事業所」として認証されました。鳥取県では10番目、ガソリンスタンドとしては唯一の認証店です。(2021.6.30現在)なお三光本社、潮見工場も同事業所として認定をされています。



DATA

産業廃棄物の年間取扱量と循環利用率



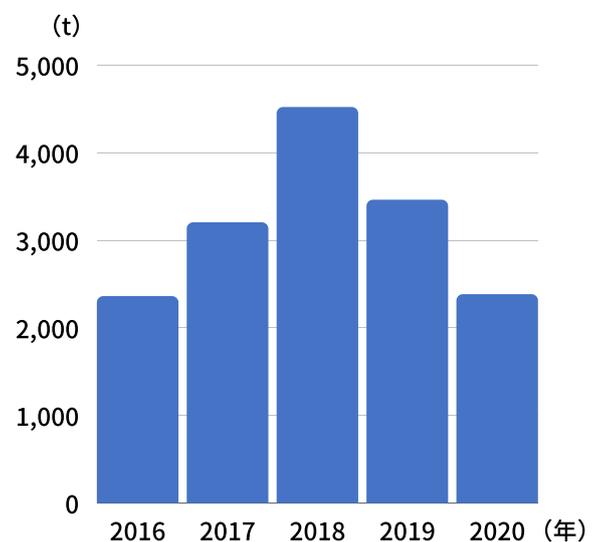
2020年度の廃棄物処理（一般廃棄物含む）数量は、全工場合わせて約161,970t/年。

※1 当社基準による循環利用率 循環利用率=再生量（総受入量-減容量-埋立量）/排出量（総受入量-減容量）

※2 規格外品を除く

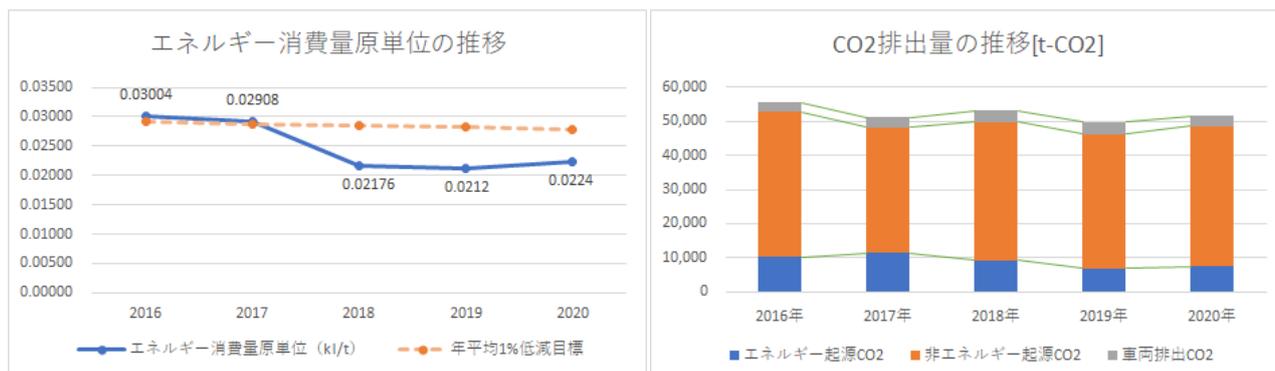
低濃度PCB廃棄物の無害化処理実績

当社は2013年8月19日付で、環境大臣より低濃度ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の無害化処理認定及び収集運搬の広域認定を取得しています。昨年度の処理実績は2,382t、これまで合計19,572tの無害化処理を行っています。



DATA

エネルギー消費量原単位とCO2排出量の推移



Jクレジット残高 2,085t-CO2

自社工場で使用する電力を自家発電することによって、電力会社から購入する電力を減らすと共に、Jクレジットを創出してCO2の削減に取り組んでいます。（2021年3月末現在）

人事データ

平均年齢 41.7歳（男性42.9歳、女性36.0歳）
管理職女性人数、比率 2名、7.1%
平均勤続年数 8.69年（男性9.19年、女性6.32年）

障がい者雇用人数、雇用率 13名、4.4%

私たち三光では常に均等な雇用機会の提供と公正な労働条件を安定的に維持するため、業績の向上に努めると共に、安全で明るく働きやすい快適な職場環境づくりに取り組み、社員満足度・ワークライフバランスのダイバーシティの向上に努めています。

（対象：正社員、2021年3月末現在。障がい者雇用のみ特例子会社を含む。）

会社概要

会社案内

商号	三光株式会社
代表者	三輪 昌輝
設立	1979年9月（昭和54年）
資本金	4,800万円
従業員	410名（三光グループ2021年3月1日現在）
所在地	〒684-0034鳥取県境港市昭和町5-17
TEL/FAX	0859-44-5367 / 0859-42-3864

グループ会社一覧

- ・三光ホールディングス株式会社 グループの経営戦略策定及び経営管理
- ・三光エネルギーサービス株式会社 石油輸送・販売事業
- ・株式会社エイチテック 地質調査・コンサルタント
汚染土壌の浄化処理事業
- ・株式会社コーケン 土木建築・運送・解体・産業廃棄物処理事業
- ・株式会社サンライズさんこう 福祉サービス事業所・産業廃棄物処理事業

日頃より当社の事業活動に対し、
多大なるご支援を賜り感謝申し上げます。
今後もSDGsの達成に向け取り組んでまいります。

お問い合わせ

三光株式会社
〒684-0034 鳥取県境港市昭和町5-17
0859-44-5367
web <https://sankokk-net.co.jp>
mail etcmail@sankokk-net.co.jp

本レポートは原則として、
2020年4月～2021年3月末の期
間における事業内容、取組及
び実績に基づいて作成してい
ます。

発行

三光株式会社

鳥取県境港市昭和町5-17

0859-44-5367

<https://sankokk-net.co.jp>

etcmil@sankokk-net.co.jp

— 三光株式会社CSRレポート2021アンケート —

CSRレポート2021をご覧いただきありがとうございました。今後のCSR活動や本レポートの内容を充実させるために、みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。こちらのQRコードよりアンケート回答ページにアクセスいただけます。

